

<p><b>【技術の名称】</b>                  つばさ杭（閉端タイプ、開端タイプ）                  -先端翼付き回転貫入鋼管杭-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-13号                  性能証明発効日：2012年8月29日</p> <p><b>【取得者】</b>                  JFEスチール株式会社</p>
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、鋼管に閉端タイプあるいは開端タイプの鋼製先端翼板2枚を溶接接合し、この鋼管を回転させることによって地盤中に貫入させ、これを杭として利用する技術である。本技術により設計・施工される杭の地盤から定まる押込み方向の許容鉛直支持力に関しては、閉端タイプは2011年11月22日に（財）日本建築総合試験所性能評価 GBRC 建評-11-231A-005（国土交通大臣認定：TACP-0395）、開端タイプは2012年3月23日に（財）日本建築総合試験所性能評価 GBRC 建評-11-231A-008（国土交通大臣認定：TACP-0413）をそれぞれ取得しており、今回の性能証明は、本技術により設計・施工された杭の地盤から定まる引き抜き方向の支持力の評価に関するものである。

**【技術開発の趣旨】**

本技術は、独自形状の鋼製先端翼板2枚を鋼管先端に取り付けることで、施工性の向上と支持力の増大を図った杭工法である。先端翼としては、先端部が閉塞された閉端タイプと先端中央に円形の開口部を設けた開端タイプの2種類を用意しており、本杭を設置する地盤に応じて両者を使い分けることで、施工性の向上を図っている。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、引き抜き方向の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「つばさ杭設計・施工指針」に従って施工された先端翼付き鋼管杭の短期荷重に対する引き抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引き抜き抵抗力は、同設計指針に定める算定式で適切に評価できると判断される。

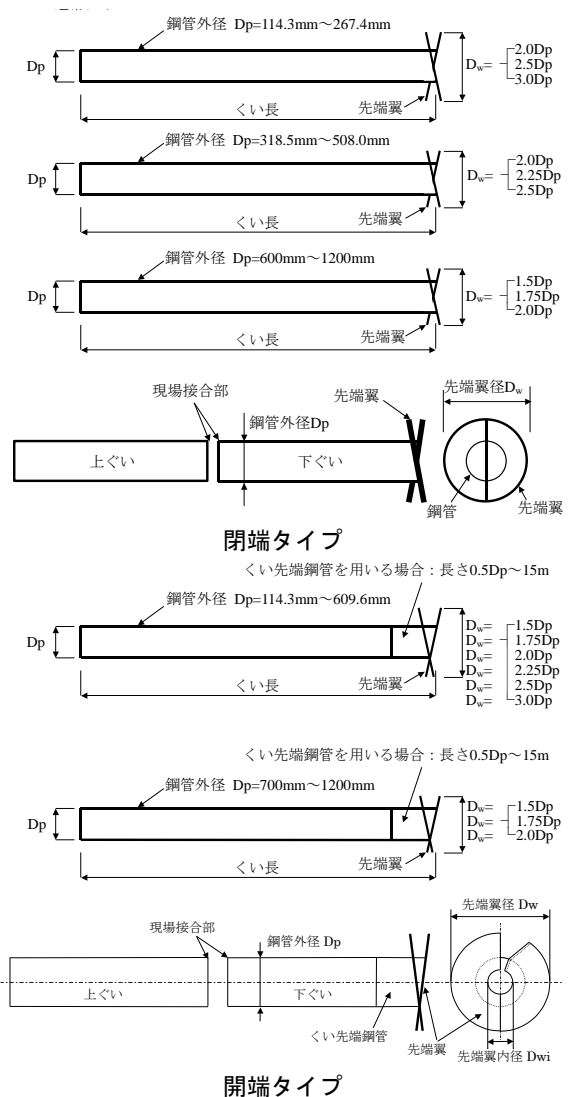


図1 つばさ杭の形状・寸法（通常タイプ）



図2 先端翼の形状

**【本技術の問合せ先】**

JFEスチール株式会社 担当者：市川 和臣  
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3

E-mail： k-ichikawa@jfe-steel.co.jp  
 TEL： 03-3597-4488 FAX： 03-3597-4530